

平成 30 年 2 月 20 日

報道機関各位

岐阜県毛織工業協同組合

**繊維産地とデザイナーを繋ぐ「尾州産地バスツアー」を 3 月に開催
～工場視察と匠によるセミナーで若手デザイナー育成と産地企業を支援～**



岐阜県毛織工業協同組合（所在地：岐阜県羽島市竹鼻町蜂尻 448、理事長：浅野宏治郎）は、尾州産地が持つ世界有数の織物技術を知ってもらうとともに、産地内企業とのマッチング支援を図るため、アパレル関係者などを対象とした「尾州産地ツアー」を 3 月 1 日（木）に開催します。

このツアーは、地元・羽島市の協力の下、東京を拠点に活動するファッションキュレーターで株式会社系編代表取締役の宮浦晋哉氏とのコラボ事業として実施。宮浦氏が自身の活動を通じて若手デザイナーやアパレル関係者を中心に参加者を募り、産地内の行程等については当組合で手配します。

昨年 10 月に第 1 回目を試行的に開催したところ、参加者からとても好評であったことから、今回から定期的で開催することとしました。

宮浦晋哉氏・・・株式会社系編代表取締役。「ファッションキュレーター」として全国の織物産地を訪問・取材等を行いながら、東京等で活動するデザイナーやメディアに日本のテキスタイルの素晴らしさを紹介する活動を展開している。

【事業背景】

羽島市及び愛知県尾張地方西部に広がる「尾州産地」は織物の一大産地で、主力の毛織物に至っては国内生産量の約 8 割を占めている。高度な技術で織られた高価格帯の生地が中心となっており、国内のみならず、近年では世界のトップブランドにも採用されている。

一方で、グローバル化の波による安価な輸入製品や職人の高齢化等を理由に、

事業所数や出荷額は減少し、産地規模が縮小傾向にある。

そこで当組合では、約 10 万点の生地見本を収蔵する国内最大の資料館「テキスタイルマテリアルセンター」を核として、人材の確保・育成及び販路拡大に向けた新商品の開発に取り組むとともに、新たな仕事の創出による地場産業（繊維工業）の振興に努めている。

【行 程】

■3月1日（木） 【当日はバスにて移動】

9:35 JR 岐阜羽島駅 集合・出発

9:45～10:15 伊東紡織（羽島市・織布工場 ジャカード・シャトル織機）

10:45～11:30 茶仙染工株式会社（一宮市・糸染め工場）

11:50～12:45 昼 食

13:00～14:00 東和毛織株式会社（一宮市・撚糸および紡績工場）

14:45～15:45 三星染整株式会社（羽島市・染色整理工場）

16:00～18:15 テキスタイルマテリアルセンター（羽島市・国内最大の布生地資料館）

①同施設の見学②当組合コンシェルジュ（㈱イワゼン岩田善之社長）によるテキスタイル開発に関する講義

18:30 解散

※行程時間は多少前後することがあります。

【特記事項】

取材時の撮影箇所としては、下記 2 施設をおすすめします。

- ・三星染整(株)（羽島市正木町不破一色 898）
- ・テキスタイルマテリアルセンター（羽島市竹鼻町蜂尻 448）

※見学先との調整が必要になりますので、誠に恐れ入りますが取材いただける場合は、前日までに下記問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

岐阜県毛織工業協同組合（羽島市竹鼻町蜂尻 448 番地）

担当：山田

☎058-391-8511

✉gikekou@estate.ocn.ne.jp

HP <https://matesen.com>